

第61回

福岡県公民館大会

平成28年8月10日(水)
久留米シティプラザ



筑後川

悠々と流れる大河は故郷の風景

主催

福岡県公民館連合会

福岡県教育委員会



目次



第61回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶	1
第61回福岡県公民館大会 開催要項	2
平成28年度公民館役職員表彰一覧	4
平成28年度優良公民館表彰一覧	6
インタビュー・ダイアローグ	8
講演	10
福岡県公民館大会年表	13

筑後川

全長143km、4県にまたがる流域面積2,860km²という筑後川は、別名「筑紫次郎」。日本三大河川のひとつに数えられる九州随一の大河で、人々は親しみをこめ「ちっこ川」と呼びます。市内には九州新幹線の鉄橋など9本の橋がかかり、悠々たる流れを臨む河畔は市民の憩いの場となっています。なお、久留米のイメージキャラクターの「くるっぱ」はこの筑後川の生まれで、市内に多くの逸話が残る河童がモチーフです。

久留米つつじ

市の花として愛されている久留米つつじは、春になると街路や公園などで花開き、久留米の街中を彩ります。久留米藩土坂本元蔵が開発した「コケまき法」という栽培技術により誕生した久留米つつじは今では数百種類。毎年4月の第3土・日曜日に開催される、ウォーキングの祭典「久留米つつじマーチ」でも、参加者の目を、色とりどりの花で楽しませます。

久留米ラーメン

久留米ラーメンは、とんこつを長時間煮込んで作られた、白濁したスープが特徴。一度食べたら忘れられない味で、食通として知られた作家の壇一雄氏も「日本一」と絶賛しました。もちろん久留米はとんこつラーメンの発祥の地でもあり、市内にはたくさんのラーメン店があります。店それぞれで味が異なるため、自分好みのお店を探すのも楽しみの一つです。

久留米焼きとり

久留米の焼きとりの自慢は、鶏だけでなく牛や豚、さらには馬までのバラエティ豊かなネタ。かつては鶏肉が高価で、手軽な豚肉が好んで食べられていたこともあり、現在でも、豚バラ、ダルム、センポコなど、鶏肉以外のメニューも豊富です。特にダルムは、医学生たちが、その部位をドイツ語で表現し「腸」を「ダルム」と呼んだことがきっかけと言われています。また焼きとり店の人口当たりの店舗数は全国有数で、久留米のB級グルメの火付け役ともなりました。

第61回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶

福岡県公民館連合会会長

中 嶋

県内各地から、公民館に関わっておられます皆様の御参加をいただき、ここ久留米市におきまして、第61回福岡県公民館大会が盛大に開催されますことをたいへん嬉しく思っております。

また、本日は、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった方々や、公民館運営並びに事業等の活動が優秀な公立公民館、自治公民館、コミュニティセンターに対しまして、福岡県公民館連合会から表彰をさせていただきます。表彰を受けられます皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、昭和20年に寺中作雄氏が、公民館構想を示し、翌、昭和21年に文部次官通牒として「公民館の設置運営について」が発せられてから、今年で70年という節目の年を迎えます。この後、瞬く間に公民館が設置され、前回の社会教育調査では、全国1万4千館、県内には公立公民館、コミュニティセンター、自治公民館等を含め5千館設置されています。それぞれの館で、地域住民にとってさらに利用しやすく、生涯を通じての学びの場となるため、様々な工夫がされているところです。

これまで学びの場として社会教育の振興に寄与し、地域の自治・協働・創造に大きな役割を果たしてきた公民館ですが、今後、長年蓄積されてきた多種多様な学びのノウハウを提供することで、これまで以上に地域とのつながりを再構築していかなければならないと考えます。

本大会は、こうした視点を踏まえて、テーマを「ひとを育て、まちを育む公民館力」といたしました。この中で「地域の課題解決に向けて、『公民館』はどうあるべきか？」と題してインタビュー・ダイアログを行い、その後、秋田大学大学院教育学研究科 教授 原 義彦様に「ひとを育て、まちを育む公民館の在り方」～公民館が担ってきたもの、これから担うもの～と題し、御講演をお願いしております。

皆様方にとりまして、本大会を、2月に実施いたします公民館実践交流会に向けての指針としていただくとともに、実り多き大会となりますことを心から願う次第です。

おわりに、本大会の開催に当たり、準備から運営に至るまで多大なる御支援を賜りました地元久留米市をはじめ、北筑後地区の皆様、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、御参加いただいた皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げます。

平成28年 8月10日



第61回 福岡県公民館大会開催要項

- 1 趣 旨** 現在、少子高齢化、高度情報化、生活様式や価値観の多様化、地域における人間関係の希薄化等、私たちを取り巻く環境は大きく変化してきており、新たな人づくり、地域づくりが課題となっています。このような中、これまでの学びの場として社会教育の振興に寄与し、地域の自立・協働・創造に大きな役割を果たしてきた公民館が見直されるようになってきました。今こそ、公民館が地域住民の集う場を提供し、人と人とのつながりを生み出し、様々な学びを育んできたことを振り返るとともに、長年蓄積されてきた多種多様な学びのノウハウを提供することで、これまで以上に地域とのつながりを再構築していかなければならないと考えます。
- 開催地である久留米市では、46の小学校区にあるコミュニティセンターにおいて地域課題の解決と人づくり、まちづくりに取り組まれています。この久留米市に県内の公民館関係者が集い、社会の変化への対応、公民館の機能と果たすべき役割、地域課題の解決に向けた新たな取組についてともに学びあうことで、「ひとを育て、まちを育む公民館力」をさらに高めるとともに、より一層の公民館の充実と発展をめざして本大会を実施します。
- 2 大会テーマ 「ひとを育て、まちを育む公民館力」**
- 3 主 催** 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 共 催** 久留米市教育委員会
- 5 後 援** 福岡県、久留米市、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県PTA連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 6 期 日** 平成28年8月10日（水）

- 7 会 場 久留米市シティプラザ
〒830-0031 久留米市六ツ門町 8 番地 1 号
TEL 0942-36-3000
- 8 参 加 者 約1,000名
公民館職員、公民館運営審議会委員、自治（町内）公民館等関係者、コミュニティ施設関係者、社会教育委員、行政関係者、学校教育関係者
- 9 日 程 12：00～ 受 付
- 12：30～ 大 会 式 典
・主催者あいさつ ・来賓祝辞 ・表彰式 ・日程説明
- 13：05～ インタビュー・ダイアローグ
「地域の課題解決に向けて、
『公民館』はどうあるべきか？」
(登壇者)
秋田大学大学院教育学研究科 教授 原 義彦 氏
那珂川町教育委員会社会教育課 主事 栗田 大 氏
鞍手町上木月区公民館 館長 井上 正日出 氏
鞍手町教育委員会教育課 主幹 吉田 幹 氏
久留米市安武校区まちづくり振興会 職員 緒方 麻美 氏
- 14：35～ 休 憩
- 14：50～ 講 演
「ひとを育て、まちを育む公民館の在り方」
～公民館が担ってきたもの、これから担うもの～
秋田大学大学院教育学研究科 教授 原 義彦 氏
- 16：00 閉 会
・次期開催地 あいさつ



福岡県公民館連合会表彰



平成28年度公民館役職員表彰 平成28年度優良公民館表彰

平成28年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役員）

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績
公立 公民館	1	福岡市	やまもと ゆうじ 山本 佑治	ひらく 東区 あお 青葉公民館	かん 館 ちよう 長	【公民館施設の管理・運営】 公民館事業や地域活動への参加者の拡大を図るとともに、公民館の「運営懇親会」等の実施方法を工夫・改善し、地域の各種団体と連携を密にするなど、公民館施設の管理・運営に貢献した。
	2		ゆ 湯 村 和 枝	ひらく 東区 あみ 美和台公民館	ぜん 前 しゅ 主 じ 事	【人権教育】 校区人権尊重推進協議会と共催で人権啓発に積極的に関わるとともに、各種の催事等への校区住民の参加を促すなど、公民館における人権教育に貢献した。
	3		まつ 村 秀 豊	はかた 博多区 とう 東光公民館	ぜん 前 かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 子育てのしやすい地域とするため地域ボランティアと連携し、高齢者の社会参画と、子どもの健全育成及び子育て支援に重点を置いた主催事業を実施するなど、地域づくりに貢献した。
	4		にし とう けい いち ろう 西頭 敬一郎	はかた 博多区 な 奈良屋公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 町内会・自治協議会と連携し、若年層が興味を持ち、参加しやすい講座等を企画・実施するとともに、公民館から積極的に情報を発信するなど、地域づくりに貢献した。
	5		ひ えい だ よし のり 日永 田義 紀	はかた 博多区 いた 板付公民館	ぜん 前 かん 館 ちよう 長	【公民館施設の管理・運営】 地域行事や公民館事業へ若い世代の参加者を増やすため、広報活動を強化するとともに、公民館を地域住民のふれあいの場とするため職員の資質向上を図るなど、公民館施設の管理・運営に貢献した。
	6		こ ほり やす じ 治 小堀 康 治	ちゅう 中央区 くさ 草ヶ江公民館	ぜん 前 かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 幅広い世代向けの事業を実施することで、地域住民の学習意欲の喚起を図るとともに、地域住民の学習ニーズや地域課題を的確に捉え地域と密着した事業を展開するなど、地域づくりに貢献した。
	7		ほう ぞう じ やす こ 宝蔵 寺保 子	ちゅう 中央区 ひら 平尾公民館	ぜん 前 しゅ 主 じ 事	【高齢者教育】 高齢者を対象とした平尾大学では、参加者に対して細かく気を配るとともに、高齢者が積極的に公民館活動へ参加できるような働きかけを行うなど、高齢者教育に貢献した。
	8		やま した のり こ 山下 宣 子	みな 南区 ひら 東花畑公民館	かん 館 ちよう 長	【公民館施設の管理・運営】 公民館事業に対して随所に新しい企画を盛り込み、きめ細かな取組を行うとともに、公民館ブログの開設や情報インフラの整備をするなど公民館施設の管理・運営に貢献した。
	9		やま した しげ き 山下 繁 喜	じょう 城南区 かな 金山公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】 自治協議会や社会福祉協議会と連携した「カフェたまり場」を実施するとともに、多くの世代が集える場所として公民館を提供するなど地域づくりに貢献した。
	10		なつ め ひろ こ 夏目 洋 子	さわ 早良区 おお 大原公民館	しゅ 主 じ 事	【団体育成・サークル活動】 新しい視点と切り口で教室等の企画・運営を行うとともに、地域、各種団体からの信頼のもと、地域の特性に応じた公民館事業を実施するなど、団体育成・サークル活動に貢献した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績
公立 公民館	11	福岡市	かじやまみちこ 梶山美知子	さわらく 早良区 ももちほまこう 百道浜公民館	かん 館 ちよう 長	【団体育成・サークル活動】サークル連絡協議会と連携し、公民館利用ルールの徹底と責任意識の高揚を図るとともに、「百道浜カレッジ」「子どもカレッジ」など、団体育成・サークル活動に貢献した。
	12		ひらかわたけひこ 平川武彦	さわらく 早良区 わかやまこう 脇山公民館	ぜん 前 かん 館 ちよう 長	【地域づくり】公民館でホタル飼育を実現させ、地域でホタルを増やすための足がかりを作るとともに、飼育に高齢者サークルや小学生を巻き込むなど地域づくりに貢献した。
	13		たけなかけいこ 竹中恵子	にしく 西区 おきこう 老岐公民館	しゅ 主 し 事	【地域づくり】各種団体と連携して高齢化問題に取り組むとともに、地域で行われている「いきいき祭」や「文化祭」などの企画メンバーとして運営に係るなど、地域づくりに貢献した。
	14		たむらかずこ 田村和子	にしく 西区 げんやうこう 玄洋公民館	しゅ 主 し 事	【地域づくり】公民館の基本的機能である「集う・学ぶ・つなぐ」を実践するとともに、主催事業において各種団体と連携し高齢化問題や子ども育成事業に取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	15	あさくらし 朝倉市 ほりうちしげら 堀内 繁	あさくらし 朝倉市 ふくだ 福田コミュニティ協議会	ぜん 前 じむ 事務局長	【地域づくり】コミュニティセンターと地域の小学校が連携し、様々な取組や地域見守り体制の確立を図るとともに、各種事業に意欲的に取組ながら、地域住民の連帯感の向上に努めるなど、地域づくりに貢献した。	
	16	やながわし 柳川市 たなかよし 田中 義隆	やながわし 柳川市 なかしまこう 中島校区公民館	ぜん 前 かん 館 ちよう 長	【地域づくり】公民館活動先進地の視察研修を行い、指導者の育成を推進するとともに、公民館の規約の整備、児童の登下校時の「見守り隊」の創設など、地域づくりに貢献した。	
自治 (町内) 公民館	1	北九州市	やましたようすけ 山下洋介	もじく 門司区 きよみこう 清見校区公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】まちづくり協議会や婦人会と連携しながら、盆踊りやグラウンドゴルフなどの行事を開催するとともに、見守り活動や高齢者支援活動に取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	2		かじ 梶 務	こくらきたく 小倉北区 くまがいこう 熊谷公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】地域と協力しながら健康事業、文化事業を積極的に行うとともに、地域の様々な異年齢が交流できる事業の企画・運営、生涯学習の普及活動など、地域づくりに貢献した。
	3		ししみずじゅんいち 清水純一	やはたにしく 八幡西区 うらたこう 浦田公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】季節に応じて多種多様な事業を展開するとともに、子ども会活動の充実による公民館活動の活性化を図ることで、地域のつながりを深めるなど、地域づくりに貢献した。
	4	大川市	かわのいのち 川野 勇	おおかわし 大川市 こぼだんち 小保団地公民館	ぜん 前 かん 館 ちよう 長	【地域づくり】コミュニティ協議会と連携し、生涯学習を推進するとともに、校区の文化祭への出展、体育大会では住民の親睦を深め、町内住民の融和を図るなど、地域づくりに貢献した。
	5		とくながなおひこ 徳永直彦	おおかわし 大川市 どうかいし 道海島公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】各種事業を統括し、コミュニティ協議会と連携しながら様々な活動に取り組むとともに、校区住民と親睦を深め、河川美化運動やクリーン清掃を実施し環境美化に努めるなど、地域づくりに尽力した。
	6		ながおひろと 永尾博人	おおかわし 大川市 しもあおき 下青木公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】鮎釣り大会や夏祭り、神事など子どもを中心とした事業を展開するとともに、コミュニティ協議会と連携し、町内住民や校区住民の融和を図るなど、地域づくりに貢献した。
	7		うえのきょうこ 上野京子	ちくごし 筑後市 ののまち 野町公民館	ぜん 前 かん 館 ちよう 長	【地域づくり】すべての住民がふれあい、交流できる公民館事業を実施するとともに、家庭・学校・地域が連携した公民館の活性化のための実践に取り組むなど、地域づくりに貢献した。
	8	いづかし 飯塚市 しらいし 白石 雅代	いづかし 飯塚市 らげつたかやま 鯉田柳町自治公民館	かん 館 ちよう 長	【地域づくり】社会教育や福祉分野等の各種事業の企画・運営に対して献身的に取り組むとともに、研修や交流事業を通して他公民館との交流を図り、情報収集に努めるなど、地域づくりに貢献した。	



平成28年度福岡県公民館連合会表彰一覧（優良公民館表彰館）

種別	番号	市町村名	公民館概要			特 色		
			公民館名	所在地	館長名			
公立 公民館	1	大牟田市	公民館名	所在地	館長名	「ふるさと大牟田講座」をH25～H27までの三年間実施した。講座終了後、受講生によるまなびの成果として冊子を作成し、小学校の地域学習を行うボランティアの説明時の参考資料として活用している。また、「三池初市」「三池光竹」などの地域行事では実行委員会へのアドバイス、事務的な支援を行い、行事成功のため地域住民と連携を図っている。		
			三池地区公民館	〒837-0921 大牟田市御池629-2			浦川一浩	
			施設・設備の状況	敷地面積				1,386㎡
				建物延面積				1,389㎡
				構 造				RC
				建築年月日				H4.9.1
主な設備	研修室A／研修室B／和室／料理室／創作室							
自治（町内） 公民館	2	那珂川町	公民館名	所在地	館長名	“まちづくり委員会”を組織し、高齢者、地域防災、子育てをテーマに団体間が連携して活動に取り組んでいる。子育ての活動では、子ども会活動だけでなく、乳幼児を対象とした子育てほっとサロンを開催し、公民館役員が「子ども広場」の取組を実施し、コミュニティスクールの活動も取り入れながら地域全体で子どもを育てている。		
			王塚台公民館	〒811-1121 筑紫郡那珂川町王塚台2丁目146			川嶋好一	
			施設・設備の状況	敷地面積				401.8㎡
				建物延面積				297.8㎡
				構 造				—
				建築年月日				S61
主な設備	大ホール／A会議室／B会議室／事務室／調理室							



インタビュー・ダイアログ 講演





インタビュー・ダイアログ

「地域の課題解決に向けて、 『公民館』はどうあるべきか？」

コーディネーター

秋田大学大学院教育学研究科 教授 **原 義彦** 氏



登壇者

那珂川町教育委員会社会教育課 主事 **栗田 大** 氏

福岡県鞍手町生まれ。民間企業を退社後、那珂川町役場に入庁し、現在、社会教育課勤務。昨年、社会教育主事講習修了。

【テーマについて】

公民館は人と人とをつなぐ「潤滑油」の役割を求められていると思います。社会教育の拠点として公民館を活用できるよう、地域住民が気軽に集える場・学習機会を提供し、地域コミュニティの活性化につなげることが大切であると考えます。



鞍手町上木月区公民館 館長 **井上 正日出** 氏

福岡県鞍手町生まれ。民間企業を退社後、平成13年に上木月区公民館館長に就任。平成18年からは鞍手町自治公民館連絡協議会の副会長に就任。

鞍手町教育委員会教育課 主幹 **吉田 幹** 氏

福岡県鞍手町生まれ。平成7年に鞍手町役場に入庁し、平成23年から教育課社会教育班にて、自治公民館に携わる。平成27年から文化振興係に勤務。

【テーマについて】

高齢化率の高い上木月区において、介護予防活動の必要性が高まりました。鞍手町社会福祉協議会がいきいきサロン活動を積極的に推進していたこともあり、協議会の協力を受けながら区・公民館が連携して、平成24年に「上木月区いきいきサロン」が発足しました。参加案内の声掛けが見守り・安否確認になり、今後も続けていきたいと考えています。



久留米市安武校区まちづくり振興会 職員 **緒方 麻美** 氏

民間企業を退社後、平成25年より安武校区まちづくり振興会職員として勤務。平成27年より安武小学校父母教師会会長。ふるさと安武が大好きな一男一女の母親。

【テーマについて】

安武校区では現在「高齢者と子どもの福祉の充実」を重要課題として取り組んでいます。住民の皆さんがもっと楽に、より楽しく校区行事やボランティア活動に参加していただくことが課題解決の糸口になるかもしれません。





◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



講演



「ひとを育て、 まちを育む公民館の在り方」 ～公民館が担ってきたもの、これから担うもの～



秋田大学大学院教育学研究科
教授 **原 義彦** 氏

プロフィール

長野県生まれ。筑波大学大学院修了。博士（学術）。宮崎大学生涯学習教育研究センター講師、助教授、秋田大学教育文化学部准教授、教授を経て、平成28年4月より現職。
専門は生涯学習学、社会教育学。

主な活動

文部科学省生涯学習政策局生涯学習調査官、中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員等を務める。日本生涯教育学会理事。

主な著書

- ・『生涯学習社会と公民館 経営診断による公民館のエンパワーメント』日本評論社、2015（単著）
- ・『地域をコーディネートする社会教育 ー新社会教育計画ー』理想社、2015（共著）など。



◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dashed lines.



◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dashed lines.

福岡県公民館大会年表

大会	月日	開催地	大会主題	全体討議テーマ
第1回	昭和28年 1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年 4月	八幡市		
第3回	昭和29年 11月19日 ～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す	公民館の振興はいかにあるべきかー社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年 11月21日 ～22日	大牟田市 中央公民館	戦後10年間の公民館活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す	赤字財政下の公民館をいかに振興するか
第5回	昭和31年 10月25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す	公民館の現状はこのままでよいか
第6回	昭和32年 10月19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる	新生活運動の反省と今後の推進方策について
第7回	昭和34年 11月21日 ～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年 10月3日 ～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に則して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいか
第9回	昭和36年 6月3日 ～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいか
第10回	昭和37年 5月13日 ～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいか	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいか
第11回	昭和38年 5月25日 ～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくらう	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか
第12回	昭和39年 5月31日 ～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいか	公民館への期待ーとくに市民性の向上を中心としてー
第13回	昭和40年 5月23日 ～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か
第14回	昭和41年 5月24日 ～25日	田川市体育館	住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう	住民の創造的生活の確立のために（分科会テーマ）
第15回	昭和42年 5月14日 ～15日	豊前市市民会館	今日の生活を見つめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習（記念講演）
第16回	昭和43年 5月28日 ～29日	北九州市 八幡市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題（記念講演）
第17回	昭和44年 5月31日 ～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割（記念講演）
第18回	昭和45年 5月26日 ～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう	公民館の理想と現実
第19回	昭和46年 5月25日 ～26日	飯塚市 文化センター	住民の学習に応えられるための公民館の施設設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を育てるための教育をすすめて	岐路にたつ70年代の選択（記念講演） 公民館の理想と現実



大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第20回	昭和47年 7月6日 ～7日	行橋市市民会館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考え、また新しい地域社会（コミュニティ）形成のための公民館活動のあり方を考える		明日を創る公民館の新路線 (記念講演)
第21回	昭和48年 5月30日	福岡市立少年文化会館ホール	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求にこたえるための公民館の役割 (シンポジウム)
第22回	昭和49年 6月6日	八女市町村会館	魅力ある公民館の創造と前進	実践発表 対面討議 全体討議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年 6月1日	直方市民会館	豊かな地域づくりをめざす公民館の役割	シンポジウム 講演	コミュニティの形成と公民館 これからの公民館経営
第24回	昭和51年 6月3日	豊前市民会館	住民の生活を高めるための公民館事業のあり方を考える	パネル討議 講演	住民の求めに応ずる公民館事業のあり方 住民の生活を高めるための公民館事業
第25回	昭和52年 9月22日	北九州市小倉南市民センター	住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(9) 講演	これからの社会教育
第26回	昭和53年 7月5日	太宰府勤労者体育センター	地域の住民の学習要求に応えるための具体的な公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域と社会教育
第27回	昭和54年 7月3日	大川市文化センター	多様化する地域住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年 6月12日	中間体育文化センター	地域住民の実際生活に即した公民館のあり方について	パネル討議 講演	地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について
第29回	昭和56年 6月3日	行橋市民会館	公民館が果たすべき今日的意義と役割を考える	講演 シンポジウム(3)	青少年をとりまく諸問題に対処する社会教育
第30回	昭和57年 6月9日	北九州市小倉市民会館	住民が主体となる公民館の在り方を考える	講演 分科会(8)	住民が主体となる公民館の在り方を考える
第31回	昭和58年 8月9日	福岡県立福岡勤労青少年文化センター	「住民の実際生活に即した公民館の役割と機能を考える」-今、公民館は地域住民とともに何をしなければならないか-	講演 分科会(9)	「現代の青少年問題を考える」 -思いやりのある社会づくりのために-
第32回	昭和59年 6月22日	甘木文化会館	生涯教育の視点に立った公民館経営の在り方を考える	講演 パネル討議(3) 分科会(2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年 6月13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる公民館のあり方を考える	講演 分科会(8)	生涯教育の推進と公民館の役割
第34回	昭和61年 5月30日	豊前市体育館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年 8月6日	北九州市立小倉市民会館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	「豊かな心を育てる地域社会の役割」
第36回	昭和63年 7月27日	福岡県立福岡勤労青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざす公民館のあり方を考える	講演 分科会(7)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第37回	平成2年 11月21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民館のあり方を考える	講演 シンポジウム(1) 分科会(4)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第38回	平成3年 7月31日	直方市民会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	地域に根ざした公民館活性化への提言
第39回	平成4年 7月30日	久留米市石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	学校週5日制…公民館はどうする!!
第40回	平成5年 9月17日	大牟田市大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	ボランティアの心

大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第41回	平成6年 7月29日	田川市 田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館の役割
第42回	平成7年 8月3日	行橋市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	公民館を元気に未来的にしよう!! - “愛されるため”の魅力を アップ…インテリジェント化-
第43回	平成8年 8月7日	北九州市立 小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館 - 粋な生き方と学衆国づくり -
第44回	平成10年 8月20日	志免町立 町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性 と役割を考える	講演 分科会(5)	公民館のこれから - 社会教育を取り巻く環境の変化 に対応するために -
第45回	平成11年 7月30日	中間市 なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性 と役割を考える	講演 分科会(5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年 7月28日	久留米市 石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たな あゆみを考える	講演 分科会(5)	新しい公民館活動のあり方～21 世紀の公民館像をめぐって～
第47回	平成13年 7月27日	筑後市 サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む 公民館活動の新たな戦略	講演 分科会(5)	家庭教育を支援する公民館活動 のあり方
第48回	平成14年 8月2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館 の新たな役割を考える	講演 分科会(5)	社会教育の出番は、“今” ～完全学校週5日制に対応した 公民館活動のあり方～
第49回	平成15年 7月23日	荻田町立 中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな 役割を探る	講演 分科会(3)	メディアから見た地域拠点とし ての公民館の役割
第50回	平成16年 8月31日	北九州市 北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その 半世紀とこれからの展望」～未来 型公民館の在り方を探る～	講演 分科会(3)	「地域の学習拠点としての公民 館」～現状と将来～
第51回	平成18年 8月3日	宗像市 宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の 在り方	講演 シンポジウム	地域へのメッセージ・会社の人 から社会の人へ少子高齢社会に 対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年 8月8日	直方市 ユメシティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何が できるか」～子供の生活リズム向 上「早寝・早起き・朝ごはん」県 民運動～	講演 シンポジウム	家庭の教育力を高めるために、 社会教育の力を公民館の家庭教 育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年 8月1日	朝倉市 サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進 する公民館の役割」	講演 シンポジウム	「社会全体の教育力向上」～学 校・家庭・地域の連携協力～ 「学校・家庭・地域の連携を推 進する公民館の役割」
第54回	平成21年 8月1日	柳川市 柳川市民会館	「教育力向上福岡県民運動の推進 と公民館」	講演 シンポジウム	「体験活動を通じた青少年の自 立とこれからの社会教育」 「教育力向上福岡県民運動の推 進と公民館」
第55回	平成22年 8月4日	田川市 田川文化センター	「活力ある地域を創造する公民館 活動のあり方」	講演 シンポジウム	「地域づくり・まちづくりと公 民館の現代的役割」 「活力ある地域を創造する公 民館活動のあり方」
第56回	平成23年 8月4日	行橋市 行橋市民体育館	「新しい公共」とこれからの公民館	講演 シンポジウム	「「新しい公共」とこれからの公 民館」 「これからの公民館運営と役割」
第57回	平成24年 8月2日	北九州市 八幡市民会館	「絆づくりと活力あるコミュニティ の形成」に向けて	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の絆を深め、活力あるコ ミュニティを創造する公民館の 役割」 「元気の出るまちづくり」
第58回	平成25年 8月29日 ～30日	福岡国際会議場 福岡サンパレス 福岡市民会館	「活力と魅力あるコミュニティづ くりをめざして」～自立・協働・ 創造の実現は公民館から～	分科会(7) 記念講演	※第64回九州地区公民館研究大 会（福岡大会を兼ねる）
第59回	平成26年 7月31日	春日市 クローバープラザ	「地域の課題解決や活性化に向け た公民館活動のあり方」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の活性化に向けた公民館 の役割」
第60回	平成27年 8月4日	岡垣町 岡垣サンリーアイ	「地域に活力を生み出す公民館の 役割」	講演 シンポジウム	「活力を生み出す公民館」



平成28年度 (平成28年5月1日～平成29年5月1日)

公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定める「公民館の目的」に寄与する施設等で全公連が加入を認めたものは、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポート

1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

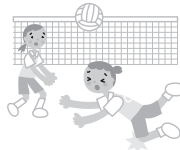
保険

- 公民館行事参加者、公民館利用者のケガを補償
- 公民館行事参加者の往復途上のケガや、行事の事前練習、準備中、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

見舞金制度

- 急性疾病に、死亡弔慰金、入院見舞金をお支払い
- 特定災害により公民館建物やその収容動産に損害が発生した場合に見舞金をお支払い

【補償例】



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約・昇降機特約)】

保険

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館に法律上の賠償責任が生じた場合に補償

※公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

【補償例】



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償

【普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約)+見舞金制度】

保険

- 公民館業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

見舞金制度

- 公民館業務に携わる方の病気や業務外のケガに対して、死亡弔慰金や入院見舞金をお支払い

【補償例】



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

公民館総合補償制度の特徴

(1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する『見舞金制度』に『保険』を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

(2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要ですので、うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

(3) 保険料の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償には、団体割引25%、過去の損害率による割引20%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『平成28年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパン日本興亜までお寄せください。

■引受保険会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 営業開発部第三課
 〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3
 TEL 03-3593-6436 FAX 03-3593-6564

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)
エコー総合補償サービス株式会社
 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL : 0120-636-717(通話料無料)
FAX : 0120-226-916(通話料無料)

福岡県公民館連合会ホームページ

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や公立公民館一覧、県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。

福岡県公民館連合会ホームページ

<http://www.fukuokaken-kominkan.jp/>



YahooやGoogleなどの検索サイトから「福岡県公民館連合会」と入力してもご覧になれます。

○「お知らせ」に新着情報を掲載していきます。

○「福岡県公民館大会誌」にこれまでの大会誌を掲載しています。



県公連と県内公民館を結ぶ情報誌です。

年3回ホームページ上で発行しています。(7月、11月、3月)

○市町村のページ特集
「特色ある公民館活動」

○こちら県公連

定期更新（年3回）以外に、新着情報の随時更新を行います。
ぜひ、ご覧ください。

久留米つつじ

世界各国で親しまれるクルメアザレア



久留米焼きとり

鶏だけではないバラエティが自慢!



久留米ラーメン

各店秘伝のとんこつスープ!



久留米市イメージキャラクター

『くるっぽ』